

## 巻頭言

## 西日本豪雨にあたって

PCP研究会会員の皆様、この度の西日本豪雨では、特に被害の大きかった広島県、愛媛県、岡山県にご支援（義援金）をいただき、三県を代表して（県知事でもないのに、本当は書きにくいのですが・・・）心から御礼を申し上げます。また、実際に被害に遭われた会員の方々や、会員のご家族、ご親戚、ご友人等の皆様が、早く元の平穏な生活を取り戻せることを願うばかりです。

思えばわずか3カ月ほど前のことですが、私自身おかやまDPATとして医師や看護師、PSWとチームを組み、避難所を走り回りました。派遣前にテレビの画面を通して目にしていた、浸水した家屋の壁に残った「水位の痕」を実際に見上げて恐怖を感じました。現地での活動中、昼食を摂れなかった日もありましたが、不思議とお腹は空かず、毎日寝不足なのに眠くもならず（脳内神経伝達物質過分泌状態?）、活動チームの任務を終えて帰還してからの数週間は、全く仕事をする気が起こりませんでした（職場には内緒ですが・・・）

それにしても、今年ほど災害に見舞われた年は記憶にありますでしょうか？今年一年間で、西日本豪雨に加え、大阪府北部地震、台風21号、北海道胆振東部地震・・・これまで、「晴れの国」、「災害の少ない県」をPRしてきた岡山県ですが、この度の豪雨は、日本で生活している以上、何時何処でも大災害は起こり得ることを改めて認識させる災害となりました。

皆様もご承知の通り、今後日本では、南海トラフ地震、首都直下地震、東南海地震等々、幾つかの巨大災害が想定されていますが、災害時にも私たち精神科薬剤師が活躍できる場はたくさんあります。来るべき巨大災害で、PCP研究会の会員同士が力を合せることができるならば、私たち研究会の存在意義も、より大きなものとなります。そのためにも、普段から各ブロックでの横の繋がりを築いていきましょう！

中国・四国ブロック世話人 北川 航平

## 2018年度全国処方調査協力依頼

PCP研究会では、本邦の統合失調症に対する処方実態・動向を把握するため、2006年以降毎年処方調査を行っています。昨年度より、外来患者についての処方調査も新たに開始いたしました。入院と外来の処方を比較することで、臨床現場で役立つ知見が得られることを期待しています。昨年度の調査では、全国107施設より入院患者のデータ(15,284例)を、また77施設より外来患者のデータ(3,126例)をご提供いただきました。業務繁多にも拘らずご協力いただきました先生方、改めてお礼申し上げます。

さて、今年も例年同様、10/31(水)に全国調査を行います。会員の先生方にはぜひご協力をお願いいたします。参加を希望されるご施設は、メールにて事務局までご連絡ください。よろしくお願いたします。

PCP調査委員会 宇野 準二



## 2018年度上期の活動状況

### テーマ「抗精神病薬の薬理作用から副作用を考える」

先生方のお名前は敬称略で記載させて頂いております。

ブロック	開催地	開催日	特別講演	ワークショップ/症例検討	追加プログラム 病院紹介/ショートレクチャー	参加人数
北海道	札幌	7月 8日	北海道大学 橋本 直樹	北海道大学 橋本 直樹 北海道大学 石川 修平	ときわ病院 吉田 拓 札幌医科大学附属病院 坂上 幸	27
東北	仙台	6月10日	市立秋田総合病院 内藤 信吾	市立秋田総合病院 内藤 信吾 せいわ病院 高屋式 一也	もとだて病院 高橋 俊明	59
関東・甲信越	東京	9月 9日	杏林大学 坪井 貴嗣 高月病院 長瀬 幸弘	高月病院 坂東 誉子 恩方病院 岩澤 恭介	恩方病院 岩澤 恭介	57
	大宮	7月 1日	獨協医科大学 尾関 祐二	田宮病院 佐合 絵里	西熊谷病院 長浜 恭史 さくら薬局 三科 龍平	49
	千葉	7月 8日	山口病院 奥平 智之	桶狭間病院 藤田こころのケアセンター 竹内 一平	石郷岡病院 鈴木 貴子	19
東海	名古屋	7月 1日	三光社 長嶺 敬彦 桶狭間病院 宇野 準二	上林記念病院 古田 康弘	藤田保健衛生大学 波多野 正和	37
北陸	金沢	8月 5日	金沢大学附属病院 内藤 暢茂 金沢医科大学病院 清水 善仁	金沢大学附属病院 内藤 暢茂 金沢大学附属病院 坪内 清貴	—	35
近畿	大阪	7月29日	—	—	—	台風のため延期
中国・四国	広島	9月23日	向洋駅前 心療クリニック 西山 聡 向洋駅前 心療クリニック 西山 聡	向洋駅前 心療クリニック 西山 聡 蔵王病院 奥田 伴枝	—	25
	松山	9月 9日	愛媛大学 伊賀 淳一 海辺の杜 ホスピタル 笠井 秀夫	愛媛大学 山崎 聖広	—	22
九州	福岡	8月 5日	産業医科大学 堀 輝 産業医科大学 堀 輝	くまもと青明病院 村田 司 小倉医療センター 三浦 智史	小倉医療センター 三浦 智史	107
	沖縄	9月 9日	玉木病院 富盛 宏	糸満晴明病院 入野 康	オリブ山病院 仲里 珠美	14

### 会費納入についてのご案内

年会費ご納入は基本的に、年度の始まりに郵送する払込用紙でのお振込みをお願いいたします。  
講演会場でご納付される場合は、事務手数料として300円を徴収いたします。  
ご負担をお掛けいたしますがご理解の程お願いいたします。

①振込用紙を使用する場合  
窓口：130円、ATM：80円

※同じ手数料で、同施設  
16名までの一括振込が  
可能です。

②講演会場受付にて新規ご入会または  
ご納付される場合  
事務手数料として300円を徴収  
なお、非会員の当日参加の場合は  
手数料を戴きません。  
また、社会人を除く学生は会費不要です。

年会費ご納付お忘れの無いよう、よろしくお願いいたします。

(事務局)



## 第2回日本精神薬学会学術集会 発表報告

2018年9月15日(土)～16日(日)：名城大学八事キャンパス

この度、上記学術集会において、PCP研究会の会員の先生方にご協力いただいております「処方実態調査」の結果を、東北ブロック世話人の黒沢先生と二人で「外来患者」「入院患者」に分けて発表しました。会員の先生方からの貴重な調査結果を少しでも多く皆さんに聞いていただきたいという意気込みが強すぎた結果、内容を盛り込み過ぎてしまい、タイムキーパーにベルを連打されるという初心者のような失敗を経験しました。なお本調査結果については改めて別の機会に報告させていただくつもりであります。

引き続き、全国の先生方のお力をお貸しいただきましたら幸甚です。

副代表幹事 天正 雅美



## 日本精神薬学会 認定制度について

この度、日本精神薬学会は精神科医療に関する幅広い見識を備え、精神科薬物療法に精通した薬剤師を認定すべく、「精神薬学会認定薬剤師」制度を設立しました。保険薬局の薬剤師にとっては、日本病院薬剤師会(日病薬)の認定制度のハードルが高かったこともあり、その点で精神薬学会認定の取得が有利と言えるでしょう。精神科地域移行が進む現在、保険薬局の薬剤師には是非とも精神薬学会の認定取得にチャレンジしていただきたく思います。

また、日病薬が認定した「精神科専門薬剤師」「精神科薬物療法認定薬剤師」の方は、精神科における薬物療法の専門家としての素質を備えています。そこで、既にその資格を持った薬剤師については、「特別認定」の規程をもうけ、認定試験を免除して認定することとしました。こちらの認定も積極的に取得していただき、若手薬剤師の育成や学会の発展に貢献して下さいますようお願い申し上げます。

※詳細は、学会ホームページ「認定薬剤師制度について」をご覧ください。

東北ブロック世話人 黒沢 雅広



## 西日本豪雨へのPCP研究会からの義援金 報告

平成30年7月5日から8日にかけて、台風7号および梅雨前線等の影響による集中豪雨により、西日本を中心に多くの地域で河川の氾濫や浸水害、土砂災害が発生し、死者200名以上という甚大な被害をもたらしました。精神科臨床薬学研究会では、被害の大きかった広島、岡山、愛媛の各県にそれぞれ10万円の義援金をお送りさせていただきました。会員の皆様へは、この紙面をお借りして報告させていただきます。

近畿ブロック世話人 本多 智子

## 2018年度下期ブロック講演会開催(予定)のご案内

テーマ「アルコール依存症の治療・病態について」

ブロック	場所	開催日	会場
北海道	札幌	11月10日(土)	大塚製薬 札幌支店
東北	盛岡	11月25日(日)	ホテル・ルイズ
関東・甲信越	東京	3月24日(日)	フクラシア東京ステーション
	千葉	2月 3日(日)	大塚製薬千葉支店 会議室
	大宮	3月10日(日)	TKP大宮駅西口カンファレンスセンター ルーム5A
東海	名古屋	1月27日(日)または2月 3日(日)	未定
北陸	金沢	3月10日(日)	石川県勤労者福祉文化会館
近畿	大阪	1月27日(日)	OMM ※延期となった上期講演会は2/17(日)振替開催予定
中国・四国	米子	3月 2日(土)	米子コンベンションセンター
	高松	3月10日(日)または3月24日(日)	サンポートホール高松
九州	福岡	3月17日(日)または3月24日(日)	リファレンス駅東ビル 5階 会議室V-1
	沖縄	3月 3日(日)	沖縄県男女参画センター「ていする」

※開催日および会場は、都合により変更となる場合がありますので、詳細はPCP研究会ホームページの活動状況欄をご覧ください。



### 事務局 掲示板

#### ■2018年度会費(2018年4月～2019年3月分、年会費：3000円)

年会費のお支払いは、ご出席の講演会開催前までにお振り込みにてお願いいたします。

【郵便局】口座名：精神科臨床薬学研究会 口座番号：00170-2-578959

\*通信欄に、必ずご施設名、お名前、会員番号をご記入ください。

(会員番号が不明な方は、メールで事務局(contact@pcp-rg.org)へお問合せください。)

#### ■講演会プログラム

講演会開催日1ヶ月前を目処に各講演会プログラムをホームページ  
<www.pcp-rg.org>に掲載しております。

#### ■特別講演DVD「抗精神病薬の薬理作用から副作用を考える」

2018年度上期講演会を欠席された会員の皆さまにDVDを貸出しております。  
希望される方は事務局までご連絡ください。バックナンバー(演題はホームページに掲載)の貸出しも受け付けております。

#### ■事務局連絡先

〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町2-4-5 茅場町2丁目ビル8階  
株式会社ネオファルマ 内

E-mail : contact@pcp-rg.org (メールには必ず、1.施設名、2.氏名を記載して下さい。)

FAX : 03-5643-0113 URL : http://www.pcp-rg.org/

### 【編集後記】

今年の日本は、大雨や台風、地震など多くの災害に見舞われています。いざという時には迅速に行動し、ゆとりを持って対処できるよう、万全の備えをしておく必要があると思います。これからも、何が起るか分かりませんが、常に万全の備えを忘れずに頑張ってください。(M.S)

